

車種別取付資料

BOX No. 560151

車両情報	スバル レガシィ B4	平成26年10月～29年10月	BN#系	1/3ページ
	レガシィ アウトバック	平成26年10月～29年10月	BS#系	
❶ プッシュボタンスタートシステム（電子キー）付き車のみ				

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

❶ 各配線の取り付けについては、2/3～3/3ページをご覧ください。

❶ 注意事項

エンジンスターターのリモコンと電子キーは、必ず付属のキーホルダーに取り付けしておいてください。

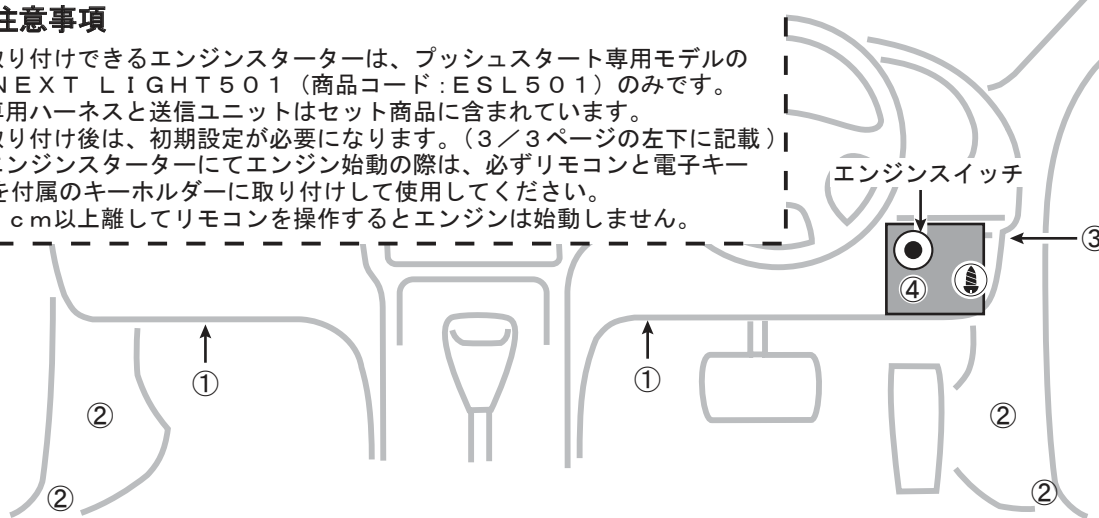
❶ 注意事項

- ・取り付けできるエンジンスターターは、プッシュスタート専用モデルのNEXT LIGHT 501（商品コード：ESL501）のみです。
- ・専用ハーネスと送信ユニットはセット商品に含まれています。
- ・取り付け後は、初期設定が必要になります。（3/3ページの左下に記載）
- ・エンジンスターターにてエンジン始動の際は、必ずリモコンと電子キーを付属のキーホルダーに取り付けして使用してください。
- ・3cm以上離してリモコンを操作するとエンジンは始動しません。

❶ 別売のハザードユニットⅡ（商品コード：EP156）の取り付けは、できません。

❶ 運転席側カバー類の外し方

- ① アンダーカバーを外す。
- ② サイドステップカバーとサイドカバーを外す。
- ③ 右サイドのカバーを外す。…車室外側（ドア側）に引っ張り外す。
- ④ エンジンスイッチ付きの右側カバーを外す。…右下側のネジ（1本）を外してから、手前に引っ張る。



❶ 助手席側カバー類の外し方

- ① アンダーカバーを外す。
- ② サイドステップカバーとサイドカバーを外す。

❶ 純正盗難警報装置についての注意事項

- 車両に装着されている盗難警報装置は、エンジンスターターでのロック/アンロック操作では、セット/解除されません。
- 車両の盗難警報装置を使用する場合のみ、必ず車両の電子キー等でロック/アンロック操作を行い、セット/解除を行ってください。
- 車両の盗難警報装置とエンジンスターターのロック/アンロック機能は併用（同時に使用）しないでください。…誤作動の恐れがあります。

止めネジ等



車種別取付資料

BOX No. 560151

車両情報

スバル レガシィ B4
レガシィ アウトバック

平成26年10月~29年10月
平成26年10月~29年10月

BN#系
BS#系

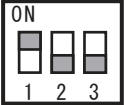
3/3ページ

❗ プッシュボタンスタートシステム（電子キー）付き車のみ

重要!

必ず、ハーネスを接続する前にDIP-SWをセットしてください。
ハーネス接続してから、DIP-SWをセットしても設定されません。間違えた場合はハーネス接続を一旦外してください。

DIP-SW



リレーユニットのDIP-SWは、1番をONにセットしてください。2番、3番はOFFのまま。（出荷時は、全てOFFにセットされています。）

注意

車両によってLF配線の接続先が異なります。間違えないよう注意してください。間違えた場合は、エンジンスタートにてエンジンがかからなくなります。

サイドカバー内奥側の一番上
12P白色カプラ

❗ アウトバック
専用ハーネス
LF(赤)
黄/緑

❗ B4
専用ハーネス
LF(赤)
赤/黄

専用ハーネス

F161S

❗ 取り付け方法

配線内容(専用ハーネスの配線色)

車両配線色

❗ CN2ハーネスの各配線の取り付けは3/3ページを参照してください。

送信ユニット取り付けエリア

❗ 斜線で記載した運転席のヒューズBOX左側エリアに取り付けしてください

❗ 取り付け後の初期設定は、3/3ページの左下に記載した手順で、フットブレーキを使用して設定を行ってください。

エンジンスイッチの裏側
14P黑色カプラ

専用ハーネス
14Pコネクタを割込接続

ヒューズBOXの裏側右奥に
テーピングされている
オプション用
15P白色カプラ

専用ハーネス
IG1入力(橙)
緑/黄

専用ハーネス
12V(黄)
青/黒

フットブレーキの上側
5P白色カプラ

専用ハーネス
STOP出力(青)
茶/白

❗ 通常時：0Vで、
フットブレーキを踏んだ
とき：12V

❗ 専用ハーネスのアース(黒)取り付け位置：
右サイドカバー内のアースポイントボルトに
共締めする。

※リレーユニットのCN1コネクタを接続する前に、DIP-SWの1番をONにセットしてください。(2番と3番はOFFのまま。)

- ①専用ハーネスの14P中継コネクタを、エンジンスイッチ裏側のカプラに割込接続する。
- ②黄色/青色/橙色/赤色の4本をそれぞれエレクトロタップを使用して上記の場所に接続する。(あらかじめ接続先の配線は、テスターで電圧を確認して、確実に接続してください。)
- ③アース(黒色)を、指定位置に固定する。
- ④専用ハーネスの10P白色コネクタへ送信ユニットを接続して、運転席のヒューズBOX左側エリアへ送信ユニットを取り付ける。(両面テープ、又は結束バンドで固定)
- ⑤14PコネクタをリレーユニットのCN1に接続する。

車種別取付資料

BOX No. 560151

車両情報	スバル レガシィ B4	平成26年10月~29年10月	BN#系	3/3ページ
	レガシィ アウトバック	平成26年10月~29年10月	BS#系	
❗️ プッシュボタンスタートシステム (電子キー) 付き車のみ				

❗️ 特有の注意事項

※エンジンスターターでアイドリング中は、電子キーの操作等でのドアロック/アンロックは作動しません。また、エンジンスターターによるアイドリング停止後は、電子キーの操作(ドアノブを握る)でアンロックはできません。…リモコンのSTOP操作でエンジンを止めてから、キーレスエントリーでアンロックをしてドアを開けてください。
 なお、NEXT LIGHTのリモコンによるアンロック操作は、アイドリング中も停止後も可能です。
 ※予備(スペア)の電子キーも含めて、全て車室外に出してからリモコンでエンジン始動操作をしてください。…エンジンスターターにてエンジンがかからなくなります。

重要!

❗️ 全車アイドリングストップが標準装備されているため、必ずL端子の配線を接続してください。
 接続しないと、エンジン始動検出が正常にできません。

❗️ 取り付け後の初期設定は、本ページの左下に記載した手順で、フットブレーキを使用して設定を行ってください。

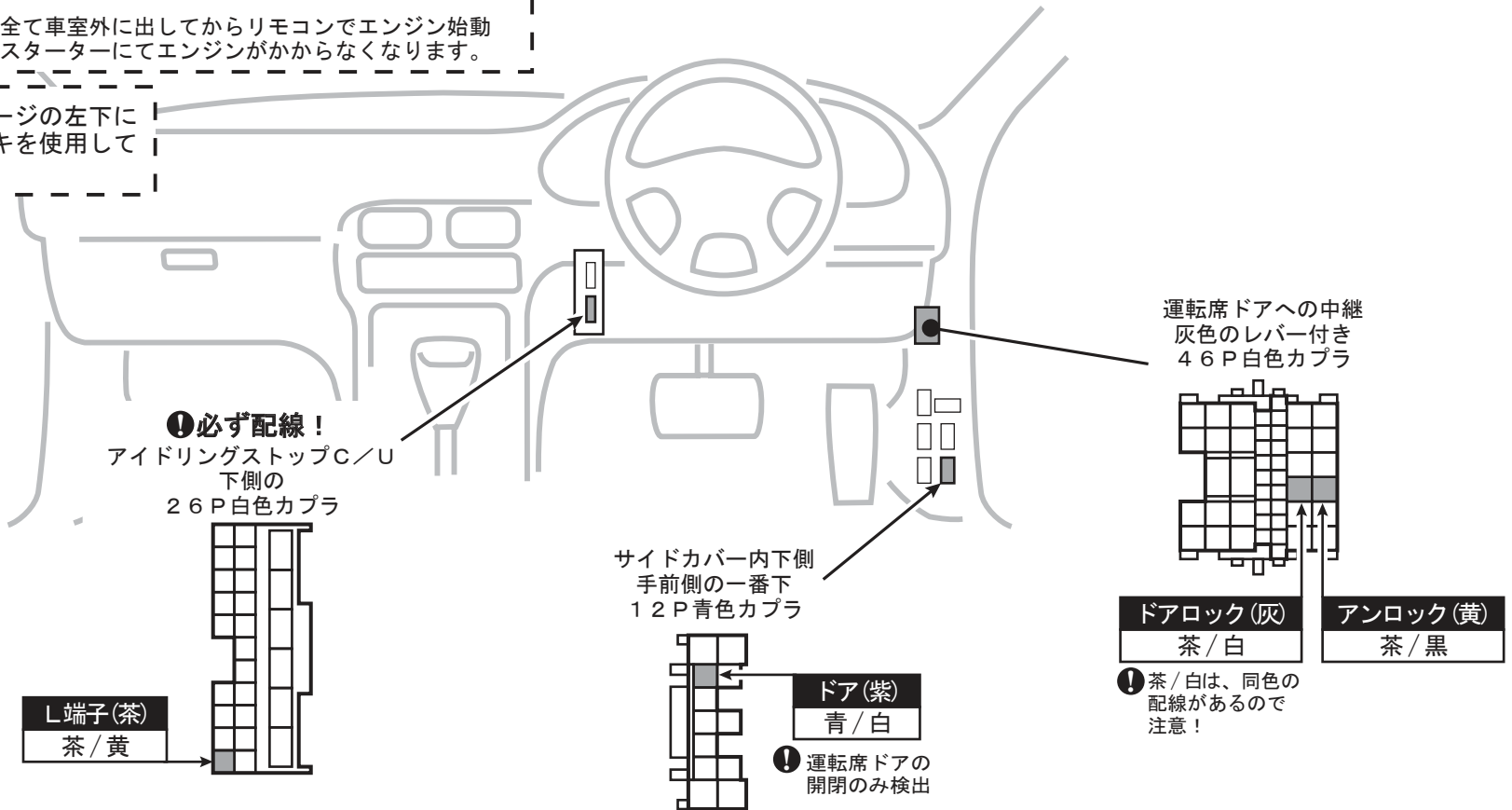
初期設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のイグニッションをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、リレーユニットのアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のイグニッションをOFFにする。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(リレーユニットCN2線色)

車両配線色



NEXT LIGHT Q & A

ESL50-2

平成27年12月18日

Q1 認証エラーでエンジンが始動しない (図1)

- A1 : リモコンと電子キーは3 cm以上離れないようにして、使用してください。(図2)
A2 : 全ての電子キーを車室外へ出して始動させてください。
※車室内に電子キーがある場合は始動しません。
A3 : 車両の電子キーの電池を新品に交換してみてください。(特に年式の古い車両)
※電子キーの電池が消耗していると始動しません。
A4 : LF配線の接続を確認してください。
※正しく接続されていないとエンジンは始動しません。

Q2 車両の近くでは始動するが離れると認証エラーで始動しない

- A1 : アンテナケーブルのコネクタが抜けていないことを確認してください。
※抜けていると、20m~30mしか飛びません。(図3)
A2 : DIPスイッチの設定状態を確認してください。車種別取付資料を参照してDIPスイッチを再度セットしてください。セットした後にリレーユニットからCN1ハーネスを抜いて5秒~10秒待ってから差し直してください。

